

科目分類	科目名	時間	内容
就職支援	就活支援セミナー	20	社会人としての素養を身につける。ビジネスマナー、コミュニケーション、自己分析、論理的思考、ビジネス文書等の基礎的なトレーニングの他、エントリーシートの書き方、面接対策などのトレーニングも実施する。本プログラムの受講生は、若者ワークプラザ北九州の登録を行い、継続的なキャリアカウンセリングを受けていただく。
基礎学習	ITリテラシー	-	基礎的な情報モラル・情報セキュリティの知識、文書作成や表計算等のオフィススキルを習得する。（自主学習コンテンツの提供）
	IT基礎・情報システム概論	40	IT系企業において、エンジニアに限らず社会人として最低限必要とされる情報系の専門用語と概念を理解できるようになるために、ITパスポートの分野に基づく情報、数学、アルゴリズム等の基礎理論、OSやソフトウェア、ネットワーク、マルチメディア等について学ぶ。
企業講義	IT人材とエンジニアのキャリア	8	IT企業の経営者や最前線のエンジニアから、業界、働き方、キャリアパス等についての講義を行い、IT人材におけるキャリア感を理解する。自社サービス系、機関業務系、WEB系、製造業系、セキュリティ系など多様な企業から講義を行い、立体的にIT業・IT職の輪郭を捉えてもらい、自身のキャリアについて考える機会を提供する。
スキル演習	WEB基礎	28	プログラマの卵が最初に直面する業務として、他者が開発したプログラムの解読を体験し、解析方法を学ぶために、シンプルなWEBシステムに触れながら、GitHub、Docker、VSCode等の開発環境を学び、課外時間にもプログラムを自由制作できる環境を受講生自身が整備する。
	プログラミング基礎	30	WEBシステムができることを理解するために、マークアップ言語（HTML/CSS）を中心に学習する。ここで「WEBページを創作する楽しみ」を体験する。後半にLaravelフレームワークを含め、プログラミング言語としてJavaScript、PHPを学び、処理系を含めたWEBシステムを理解する。
	データベース基礎	30	データベースシステムに必要な4つの主要機能であるCreate、Read、Update、Delete（いわゆるCRUD）のうち、まず検索機能の実装などで最もよく使われるReadを中心に学習を行う。その演習の過程においてCreate、Update、Deleteにも触れ、データベースを理解していく。
	システム開発プログラミング基礎	84	ここまでのWEB基礎、プログラミング基礎、データベース基礎で習得した知識とスキルを活かして、WEBシステムに機能追加のプログラミングを行っていく。ここで、GitHubでのコード管理のより実践的な使い方や、プロジェクト管理及びデバッグについて学ぶ。
実践トレーニング	グループワークプログラミングI	120	実際にあるシステム開発案件を模した実践をグループワークにて行う。システム開発プログラミング基礎の発展系を題材とし、スクラムのスプリントの手法でシステム開発を進める。グループ内で役割を決め、1週間でひとつの機能要件の実装を目安とし、そのサイクル（スプリント）を数回繰り返す。これにより、グループワークによるプログラミングやペアプログラミングを身につけていく。
	グループワークプログラミングII・インターンシップ	60	受講生にインターンシップへのチャレンジの機会を提供する。希望する企業にエントリーし、面接を通過することで、インターンシップ先企業が用意する、実業務をベースとした60時間の受け入れプログラムを受けることができる。インターンシップに参加しない受講生も、本プログラムであらかじめ用意した疑似インターンシッププログラム（＝グループワークプログラミングII）を受ける。インターンシップを通じて、受講生は実際のIT業務を体験する。